

もうすぐ高総体開幕

～ 各部の主将が高総体に向けての抱負を熱く語りました ～



▲高総体に出場する各運動部の主将

6月2日（金）、トランスコスモスタジアム長崎（諫早市）で行われる総合開会式を皮切りに、本年度の県高校総体が開幕します。

本校からは、8つの運動部から66名（男子37名、女子29名）の選手が参加し、県内各地で熱戦を展開します。

本号では、高総体に出場する各運動部の主将に、大会に向けての抱負を熱く語っていただきました。初戦の試合会場や対戦校（団体戦）と併せて紹介します（詳細は下表の通りです）。

部・主将・出身中学校など	大会に向けての抱負・試合会場・試合予定
陸上競技部 浜野 元気 さん （3年 御厨中学校出身）	一人一人が上位大会を目指し、戦っていきます。応援よろしくお祈いします！！ 〔会場〕トランスコスモスタジアム長崎 〔試合予定〕男子5000m（浜野）
なぎなた部 富野 菜々美 さん （3年 志佐中学校出身）	全国大会につなげることができるよう、レベルの高い試合をします！ 応援よろしくお祈いします。 〔会場〕松浦高校体育館 〔試合予定〕演技競技（富野・松口 vs 濱崎・成富）、試合競技（富野 vs 近藤 他）
ソフトテニス部男子 山本 剛瑠 さん （3年 御厨中学校出身）	個人戦（ダブルス）2回戦突破ができるよう、最後まで諦めずにボールを追いかけます。 〔会場〕佐世保市総合グラウンドテニスコート 〔対戦校〕諫早東高校
ソフトテニス部女子 小田 新菜 さん （3年 志佐中学校出身）	個人戦1回戦突破、団体戦ベスト16を目指して、自分たちらしく一球一球を大切にし、全力で頑張ります。 〔会場〕佐世保市総合グラウンドテニスコート 〔対戦校〕対馬高校
卓球部 益本 理広 さん （3年 志佐中学校出身）	最後の一点が決まるまであがき続け、目標である団体戦ベスト8を目指します。3年間のすべてをぶつけて頑張ります。 〔会場〕大村市体育文化センター 〔対戦校〕〈男子〉長崎南山高校
バレーボール部 小田 柚葉 さん （3年 今福中学校出身）	チーム一丸となって、みんなでベストを尽くせるように頑張ります。応援よろしくお祈いします。 〔会場〕純心女子高校体育館 〔対戦校〕長崎南高校
バスケットボール部男子 平野 翔悟 さん （3年 御厨中学校出身）	大会が開催されることに感謝し、最後まで諦めず、悔いの残らないように試合終了のブザー音が鳴るまで走り抜きます。 〔会場〕佐世保市体育文化館 〔対戦校〕西陵高校
バスケットボール部女子 森 まこと さん （2年 志佐中学校出身）	いろいろな方々に支えていただき、応援していただいて、バスケができることに感謝し、精一杯頑張ります。 〔会場〕佐世保南高校体育館 〔対戦校〕大村城南高校

注）合同チームでの出場

本年度の「まつナビ・プロジェクト (MNP)」がスタートし、2学年では、地域課題についての班別研究が本格的に始まりました。今後、6月21日(水)に開催されるまつナビ中間発表に向けて、さらに研究を深めていきます。1年生では、5月10日(水)に松浦市職員の方々を講師としてお招きして「松浦再発見研修会」を行い、人口減少、協働まちづくり、ふるさと納税など様々な視点から、松浦市の現状について学びました。



阿部優亜さん(1年 志佐中学校出身)は「松浦市の課題と、その課題に対する取り組みを知ることができた。私たちがしたいことと地域の問題解決をすり合わせて、松浦に貢献していきたい」と語りました。

6月のおもな行事

注) ①は1年、②は2年、③は3年

2日(金) 高総体開会式、教育実習終了	17日(土) ③県下一斉模試
3日(土) 高総体(～6日)	18日(日) 全商ビジネス計算検定試験
4日(日) 高総体なぎなた競技(本校体育館)	19日(月) 地区別学校説明会(田平)
7日(水) 振替休日(6/4分)	21日(水) ①②まつナビ中間発表
8日(木) 高総体報告会、生徒会役員選挙候補者紹介 選挙管理委員会、③放課後補習開始 検尿(予備日)	22日(木) 防災避難訓練
10日(土) ①②土曜補習、③進研マーク模試(～11日) 公務員模試、看護医療模試	23日(金) 第2回定期考査(～28日)
14日(水) 企業見学会、高大連携講座(5・6校時)	25日(日) 全商簿記実務検定試験
15日(木) 生徒会役員選挙、①耳鼻科検診	29日(木) ③放課後補習再開
16日(金) 考査時間割発表、③放課後補習中断 ①歯科検診	30日(金) 40分×7校時 野球部壮行会、生徒会役員任命式 「地域に根ざした高等学校」研修会

「いざ 勝負！」

校長 舟越 裕

この学校だよりがお手元に届くのは、高総体直前もしくは高総体が既に終了している時期だと思えます。私自身、持久系以外の運動を苦手としており、特に球や羽などを道具で扱う競技については全く不得手です。にもかかわらずスポーツを見ることは、運動への拒否感が強かった子どものころから大好きで、教員になってからも、球を扱う競技である軟式野球、バスケットボール、サッカーの顧問(バスケ・サッカーは他に専門の顧問がいましたが)を経験し、可能な範囲で生徒の支援をしてきました。

教員として2校目の赴任校であった五島列島の奈留高校では、軟式野球部の顧問(監督)をしていました。まさに球を扱う競技でしたが、諸般の事情で監督を引き受けました。素人がサインを出すわけですので、監督を引き受けた当初は自分がサインを出して、相手チームに見破られることが多々あり、生徒には本当に申し訳ない思いでいっぱいでした。したがってチームによっては、チーム内で生徒をプレイング・マネージャー(選手兼監督)とし、生徒同士でサインを出すようにしたこともありました。

今に始まったことではありませんが、めまぐるしく社会が変化する中では、「自ら考え、行動し、発信する」ことができる自律型の人間が求められています。部活動の試合は、相手や天候、試合展開などによって常に環境が変わり続けるため、その一瞬一瞬で様々な判断が求められます。したがって、部活動は、「自ら考え、行動し、発信する」力を身に付けることができる最適な場です。

高総体に参加する松高生も、これまでの練習の中でそうした力をしっかりと身に付けてきました。最後は、その力を存分に発揮するための心の準備にかかっています。いざ 勝負! 頑張れ 松高生!



松高
YouTube



松高
ホームページ



松高
Instagram